

令和7年度の後志教育研修センター事業の推進にあたって

草木の緑が一段と鮮やかになる時節となってまいりました。子供たちの生き生きとした活動が、地域に、そして、校舎いっばいに繰り広げられていることでしょう。

新たなスタートに、様々な思いや願いを込めつつ、未来を担う子供たちを導く構想も、それぞれの教育関係機関において着々と進められていることと、ご推察いたします。

後志教育研修センターは、管内の教職員、社会教育担当者等の資質・能力の向上を目指した研修講座事業等を、協働で実施することを目的として設置され、令和7年度で設立50周年を迎えました。

今年度のセンタースタッフを、ご紹介いたします。所長の 木村和義と申します。副所長には引き続き 加藤数馬 校長（倶知安町立北陽小学校）に、お力添えをいただくことになりました。新たに 中田恭太郎 事務部長を迎えました。また、引き続き 菅原宮留美 事務主事も庶務を担当いたします。

そして、研修活動を牽引する、3名の兼務所員がいます。研修部長2年目となる 清水栄治 先生（京極町立京極小学校）、研修講座主事1年目である 渡部葉月 先生（倶知安町立倶知安小学校）、調査研究主事4年目となる 小山正博 先生（倶知安町立倶知安中学校）です。

研修講座事業・調査研究事業・研修センター事業が、一層充実したものとなるように、丁寧に推進してまいります。

また、所員を派遣くださっている、各教育委員会教育長様並びに所属校の校長先生のご理解・ご協力に、深く感謝申し上げます。所員とともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、一人一人の子どもを主語にする授業改善を目指していきます。

研修講座では、現行の学習指導要領の理念である社会に開かれた教育課程の下、子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの構築に、一体的に取り組みます。講師の皆様には、快く講師を引き受けていただきましたことに、心より感謝を申し上げます。

授業提供してくださる会場校の校長先生をはじめ、当該の教職員の皆様には特段お世話になります。

今後とも、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

後志教育研修センター所長 木村和義